

資材推進のお礼とお願い

七月十八日～二十一日、八月二日～四日にわたり、本年もそれぞれの地区で肥料の早取り注文を含む推進訪問を行いました。時節柄大変お忙しい中での訪問となりましたが、厚く御礼申し上げます。

なお、当JAでは本年、超早期・早期・重点・大口引取を実施致します。あわせて年内引取自己運搬料（七月～十二月）も実施致しますので、とりまとめ注文書のご提出と積極的な年内引取をお願い致します。

また、今後も継続的に推進訪問を実施する予定でおりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

赤平地区農業基盤整備促進事業

今年度暗渠排水整備506aを実施しており、現在198aの受益面積が工事完了している状況となっております。平成三十年度以降も組合員の要望に基づき実施計画を立てている所です。平成三十年から平成三十二年の期間で実施する計画を立てており、区画拡大で施工面積2,194a、暗渠排水で1,447a施工面積の要望がある状況です。

現在、平成三十年度の予算要求をしている段階ですが、予算要求が採択されれば、平成三十年度は区画拡大897a、暗渠排水1,025aの面積を実施する予定となっております。

「コムギなまぐさ黒穂病」対策について

秋播き小麦の播種も終盤にさしかかり、これ

からの「コムギなまぐさ黒穂病」対策として以下の対策を徹底して頂きますようよろしくお願ひ致します。

- 対策 チルト乳剤による茎葉散布小麦1～3葉期時期にチルト乳剤を雪腐病防除として茎葉散布することにより、発病を減少させる事が期待されます。
- ・使用回数については、根雪前2回以内となっております。
 - ・チルト乳剤の使用倍率は750倍、散布水量60～150リットルとなっております。

農産物検査員の紹介

今年度から二名の農産物検査員が増員になり、計二十九名で各種農産物の検査を致しますのでよろしくお願ひ致します。

新たに増員となった二名をご紹介します。頂きます。

販売部次長

兼販売施設課長

垣野 誠志



金融部貯金課

北西 亮介



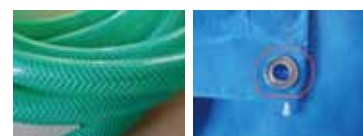
秋の廃プラ回収について

六月に廃プラ回収が終了しましたが、今回は秋の十一月月上旬に回収を予定しています。

廃プラ回収で回収出来るもの、回収出来ないものがありますので、確認の上お持ち頂きます様お願ひ致します。

※廃プラ回収出来ない物(例)

- ・クロスシートなどにハトメ金具がついているもの
- （ハトメを外してあるものについては回収出来ます）
- ・ゴム製品
- ・ホース類
- （糸が埋め込まれているもの）
- ・鉄類



農作業事故に注意しましょう

これから水稲の収穫作業に入り、繁忙期を迎える事と思いますが、事故等に気を付けて作業にあたって下さい。コンバイン事故には三つの特徴があるので紹介いたします。

コンバイン事故の三つの特徴

- ①走行中(圃場・道)の転落・横転
 - ・バックする際や足下などの死角
 - ↓対策として、誘導者をつけることや道幅を示すポールの設置。
- ②整備中の事故
 - ・コンバインはカバーを外すと「回転物」が多い。
 - ↓対策として、整備する際には機会が動いてない事を確認してから整備にあたります。
- ③「手こぎ」での巻き込まれ事故
 - ・だびつく手袋の着用や無理な姿勢での手こぎ作業。
 - ↓対策として、自分の手にあったサイズの手袋の着用、稲束は押し出すように入れること。